

栽培植物起原学分野

京都府向日市物集女町中条 1 番地

Tel: 075-921-0652

<http://www.crop-evolution.kais.kyoto-u.ac.jp>

問い合わせ : terauchi.ryohei.3z@kyoto-u.ac.jp

教授 寺内 良平 研究員 4 名
助教 安井 康夫 非常勤職員 2 名
技術職員 太田 敦士

北白川分室
(農学生命科学研究棟)

Tel: 075-753-6039

栽培植物は人類最大の文化遺産です。栽培植物を含む生物の歴史は、生物のゲノムに記されています。本分野では、フィールドワークにより集められた世界の多様な栽培植物を主な研究材料として、バイオインフォーマティクスを駆使してゲノム配列を解析することにより、多様な栽培植物の起源と進化に関する基礎研究を展開します。

栽培植物の多様性を調べる

栽培植物は、世界の各地で、ヒトと野生植物や雑草の相互作用の結果、栽培化されました。私たちの研究分野では、コムギ、雑穀、ソバ、ヤム、イネなどさまざまな栽培植物とその近縁野生種を研究対象として、フィールド調査により採集し、栽培、観察、記述する博物学的な研究をおこなうとともに、遺伝子資源の保存も担っています。

栽培植物のゲノムを調べる

近年の DNA 解析技術の進展により、生物の全ゲノム配列を解読することが容易になりました。私たちの研究分野では、バイオインフォーマティクス技術を駆使してゲノム配列を調べることにより、栽培植物と野生種の類縁関係、起原、進化を遺伝子レベルで解明する研究に取り組んでいます。栽培化や適応に関わる重要遺伝子の単離も進めています。

栽培植物の進化を調べる

栽培植物は、人為環境下で大規模に栽培されることにより、病虫害の原因生物から強い自然選択を受けることなどにより、現在も進化し続けています。私たちの分野では、栽培植物を研究材料として、生物共進化の分子機構解明にも取り組んでいます。

